

答え合わせ・解説

問1	答え 4 摂関政治	藤原氏が「摂政」と「関白」という重要な職について行った政治であるため、摂関政治と呼ばれます。院政は白河上皇などが天皇を退位した後に行った政治、武家政治は平清盛や源頼朝以降の武士による政治、執権政治は鎌倉幕府において北条氏が補佐役として行った政治です。
問2	答え 2 唐から帰国後、比叡山に延暦寺を建立して、天台宗の教えを広めた。	最澄は天台宗を、空海は真言宗をそれぞれ唐から伝えました。最澄の拠点は比叡山延暦寺、空海の拠点は高野山金剛峰寺です。この区別は入試で非常によく問われるポイントです。
問3	答え 4 自分の娘を天皇の中宮（きさき）として入内させ、天皇との親戚関係を築いた	平清盛は、娘の徳子（建礼門院）を高倉天皇の中宮（きさき）にすることで、後の安徳天皇の外祖父（母方の祖父）となり、天皇との血縁関係を背景に大きな政治的影響力を持ちました。これは平安時代に藤原氏が摂政や関白として権力を振るった際と同じ手法です。他の選択肢にある御成敗式目は鎌倉時代、朱印状は安土桃山・江戸時代、守護・地頭の設置は源頼朝による事績です。
問4	答え 3 大和絵 ・ 源氏物語絵巻	中国風の「唐絵（からえ）」に対して、日本の風土や人物を題材とした絵画は「大和絵（やまとえ）」と呼ばれます。この大和絵の手法を用い、物語の情景と言葉を組み合わせた「源氏物語絵巻」は、当時の貴族文化の華やかさを伝える貴重な史料です。枕草子は清少納言による随筆であり、浮世絵は江戸時代に成立した様式であるため、混同に注意が必要です。
問5	答え 3 国風文化	894年に遣唐使が廃止されたことで、中国（唐）の文化をそのまま模倣するのではなく、日本の風土や生活に合わせて消化・吸収する動きが強まりました。藤原氏による摂関政治が行われた時期に、貴族を中心に洗練されたこの独自の文化が最盛期を迎えました。
問6	答え 4 唐が衰退して日本が学ぶべきことが少なくなったことや往復の危険が理由であり、中止後は日本独自の「国風文化」が発達する一因となった。	菅原道真は、派遣先である唐の国力が衰えていたことや、航海に伴う危険が大きかったことを理由に遣唐使の中止を提案しました。これにより、それまでの中国文化の影響を強く受けた文化から、日本の風土や生活感覚に合わせた「国風文化」へと発展していく契機となりました。平清盛による日宋貿易は、さらに後の平安時代末期の出来事です。
問7	答え 3 桓武天皇による国司の監督強化、藤原道長らによる摂関政治、白河天皇による院政	平安時代初期、桓武天皇は勘解由使を設置して国司の交代時の不正を厳しく監督し、天皇中心の政治を立て直そうとしました。中期になると、天皇の外戚（母方の親戚）となった藤原氏の道長・頼通親子が摂政・関白として実権を握る摂関政治が全盛期を迎えました。その後、藤原氏を抑えるために白河天皇が位を譲ったあとも上皇として政治を行う院政を開始し、政治の主導権が移り変わっていきました。
問8	答え 1 坂上田村麻呂を征夷大將軍に任命し、蝦夷と呼ばれた人々を服属させて支配を広げた。	桓武天皇は都を移して政治を刷新する一方で、国家の支配領域を拡大するために東北地方への軍事遠征を行いました。坂上田村麻呂が征夷大將軍として派遣され、胆沢城を築くなどして蝦夷の抵抗を抑え、北方の安定を図りました。
問9	答え 4 戸籍に基づき土地を分ける班田収授の仕組みが行き詰まり、国司に徴税を請け負わせる必要が生じたため。	平安時代中期になると、人々の移動や偽りの登録などにより、戸籍に基づいた従来の徴税体制（班田収授法など）が機能なくなりました。そこで朝廷は、国司に対して「一定の税を納めること」を条件に、現地の統治や徴税方法を自由に決定できる大幅な権限を与える方針転換を行いました。
問10	答え 3 漢字を簡略化した「かな文字」が普及し、女性による日記や物語などの文学作品が多く生まれました。	万葉仮名から発展して「かな文字」が発明されたことで、漢字では表現しきれなかった日本人の繊細な心情を自由に書き表せるようになりました。これにより、紫式部の『源氏物語』や清少納言の『枕草子』といった、世界に誇る女流文学が誕生しました。また、絵画の分野でも、日本の風景や風俗を描いた「大和絵」が描かれるようになるなど、日本的な美意識が確立されました。
問11	答え 4 かな文字 — 『源氏物語』や『枕草子』	この時期、漢字を崩したり一部を取ったりして作られた「かな文字」が広く普及しました。これにより、漢文では表現しにくかった微妙な感情や宮廷生活の様子を表現できるようになり、紫式部による物語文学や清少納言による随筆など、日本文学の傑作が数多く誕生しました。
問12	答え 2 貴族が住んだ寝殿造は、池のある庭園に面した開放的な邸宅であった。	平安時代中期以降、中国の影響を強く受けた文化から、日本の独自性を生かした国風文化へと変化しました。寝殿造は、その象徴的な住居様式です。選択肢にある書院造は室町時代に登場した様式であり、町屋の発展は後の時代である江戸時代の商業発展と密接に関わっています。

- 問1 平清盛が率いる平氏は、急速な勢力拡大に対して反発した源氏との間で、全国規模の争乱を繰り広げました。平氏が最終的に滅亡した、現在の山口県に位置する戦いの場所として適切なものを答えなさい。 (2017年 千葉県公立入試 類似)
1. 一の谷 2. 壇ノ浦 3. 富士川 4. 屋島
-
- 問2 平安時代末期、現在の岩手県平泉を中心に三代にわたって栄えた奥州藤原氏。彼らが、浄土信仰に基づいて平泉に建立し、建物全体が金箔で覆われていることで知られる代表的な建築物を何というか。 (2022年 愛知県公立入試 類似)
1. 中尊寺金色堂 2. 平等院鳳凰堂 3. 鹿苑寺金閣 4. 慈照寺銀閣
-
- 問3 平安時代に藤原道長が全盛期を築いた「摂関政治」において、藤原氏が政治の実権を握り続けることができた仕組みとして、最も適切なものはどれですか。 (2020年 長野県公立入試 類似)
1. 自分の娘を天皇の后とし、その間に生まれた子を次の天皇に立てることで、天皇の母方の祖父として政治を補佐する仕組み 2. 天皇が位を譲って上皇となったあとも、政治の窓口である「院」において実権を握り続け、藤原氏を排除する仕組み 3. 家柄に関係なく、試験によって優秀な人材を官僚として採用し、藤原氏の配下として政府の要職に配置する仕組み 4. 地方の武士を都に集めて軍事力を強化し、天皇を武力で威圧することで、無理やり政治の全権を委譲させる仕組み
-
- 問4 平安時代初期に最澄や空海によってもたらされた新しい仏教は、それまでの奈良時代の仏教と異なり、政治の場から離れて山の中で厳しい修行を行うことを重視しました。最澄が伝えた教えとその活動に関する説明として最も適切なものはどれですか。 (2016年 岐阜県公立入試 類似)
1. 高野山に金剛峯寺を建立して真言宗を広め、加持祈祷などの密教の儀式を体系化した。 2. 唐から日本へ正しい戒律を伝えるために、何度も遭難を繰り返しながら来日し、唐招提寺を建立した。 3. 比叡山に延暦寺を建立して天台宗を広め、国家の平安を祈るとともに、多くの優れた僧を育成した。 4. 朝廷から布教を禁じられながらも、溜池の造成や橋の架け替えなどの社会事業を通じて民衆に教えを説いた。
-
- 問5 平清盛が、平氏の経済的基盤を強化するために行った経済政策として、正しい事実はどれですか。 (2026年 和歌山県公立入試 類似)
1. 大輪田泊（現在の神戸市）を修築し、中国の宋（北宋・南宋）との貿易を積極的に推進した。 2. 堺や博多の商人に特権を与え、各地の関所を撤廃して楽市・楽座などの商業振興を行った。 3. 博多の港に「金印」を保管する施設を作り、中国の漢（後漢）から金や絹を輸入した。 4. 長崎の出島にオランダ商館を移し、幕府が貿易の利益を独占する体制を整えた。
-
- 問6 平安時代初期、最澄が唐から伝えた教えをもとに、比叡山延暦寺を拠点として日本に広めた仏教の宗派を何といいますか。 (2018年 和歌山県公立入試 類似)
1. 浄土宗 2. 禅宗 3. 天台宗 4. 真言宗
-
- 問7 平安時代の中期から後期にかけて、貴族から民衆の間へと急速に広まった浄土信仰（浄土教）の考え方や背景を説明した文として、最も適切なものはどれですか。 (2022年 茨城県公立入試 類似)
1. 座禅によって精神を集中させることで、自分自身の力で悟りを開き、厳しい社会を生き抜こうとした。 2. 法華經の教えを最高の經典とし、題目を唱えることで現世の国家の安泰と平和を祈願した。 3. 阿弥陀仏の救いを信じ、念仏を唱えることで、死後に苦しみのない世界へ生まれ変わることを願った。 4. 厳しい修行を積んだ僧侶が加持祈祷を行うことで、病気の快復や災難を避けるといった現世での利益を求めた。
-
- 問8 平安時代後期に白河上皇が始めた、天皇が位を譲った後も上皇（太上天皇）として、摂政や関白の力を抑えながら政治の実権を握る形態を何というか、名称を答えなさい。 (2022年 大分県公立入試 類似)
1. 武家政治 2. 摂関政治 3. 院政 4. 親政
-
- 問9 平安時代末期、武家として初めて太政大臣の地位に就いた平清盛が、兵庫の「大輪田泊」を修築して積極的に推進した、大陸の王朝との貿易について述べた文として正しいものはどれか。 (2026年 静岡県公立入試 類似)
1. 明の皇帝から日本国王に封じられたことをきっかけに、勘合という札を用いて倭寇と区別しながら貿易を行った。 2. 宋との貿易を盛んに行い、輸入された大量の銅銭は日本国内で貨幣として流通し、経済の活性化につながった。 3. 唐との貿易を再開し、遣唐使を通じて最新の律令制度や仏教文化を導入することで、中央集権国家の確立を狙った。 4. 元の侵攻に備えるため、大陸との貿易を厳しく制限し、博多に防塁を築いて沿岸部の警備を強化した。
-
- 問10 平安時代中期、遣唐使の廃止などを背景に、それまでの中国（唐）の影響から脱して、日本の風土や生活、日本人の感情に合った文化が生まれました。この文化を何と呼びますか。 (2019年 富山県公立入試 類似)
1. 天平文化 2. 飛鳥文化 3. 国風文化 4. 元禄文化
-
- 問11 現在の一万円札の裏面には、ある建築物の屋根に据えられた「鳳凰像」が描かれています。この鳳凰像が象徴する建築物が建立された当時の日本の政治状況と、その背景にある思想について説明したものととして、最も適切なものはどれですか。 (2020年 奈良県公立入試 類似)
1. 徳川家康が江戸幕府を開いて社会の安定がもたらされ、幕府の統治を正当化するために儒教の一派である朱子学が奨励された。 2. 藤原氏が摂政や関白の職を独占する摂関政治が行われ、貴族の間で極楽浄土への往生を願う浄土信仰が広まった。 3. 源頼朝が鎌倉に幕府を開いて武家政治が始まり、厳しい修行によって悟りを開こうとする禅宗が武士の間で流行した。 4. 聖武天皇が国ごとに国分寺を建立して中央集権化を図り、仏教の力で国家を守ろうとする鎮護国家の思想が定着した。
-
- 問12 平安時代中期、藤原道長や頼通の親子は、自分の娘を天皇の后とし、生まれた子が天皇になると、その外戚として政治の実権を握った。天皇が幼いときは摂政、成長してからは関白の職について行われたこの政治形態を何というか。 (2024年 青森県公立入試 類似)
1. 院政 2. 摂関政治 3. 武家政治 4. 執権政治
-
- 問13 平清盛が、それまでの慣例であった九州の太宰府などを通じた形式ではなく、自ら拠点を置く福原（現在の神戸市）に近い大輪田泊を整備し、日宋貿易を主導した最大の目的は何ですか。 (2020年 高知県公立入試 類似)
1. 貿易による膨大な利益を独占し、平氏一族の経済的・政治的な勢力を強化するため 2. 小野妹子が伝えたと言われる仏教建築の技術を導入し、日本最大の寺院を建立するため 3. 白村江の戦いでの敗北を受け、大陸からの侵攻に備えて瀬戸内海の防衛を固めるため 4. 卑弥呼の時代から続く中国皇帝への朝貢形式を復活させ、国内の不満を逸らすため

答え合わせ・解説

問1	答え 2 壇ノ浦	源頼朝が挙兵した後、平氏は源義経らによって西へと追い詰められました。1185年、山口県の下関にある壇ノ浦で行われた海戦に敗れ、平氏政権は完全に滅びました。
問2	答え 1 中尊寺金色堂	奥州藤原氏は、12世紀の東北地方で強力な勢力を誇った豪族です。初代清衡によって建立されたこの仏堂は、皆金色（皆金色の装飾）の名の通り、内外が金箔で覆われています。当時の東北地方の豊かな経済力と、戦乱のない理想郷を願う浄土信仰を象徴する文化財です。
問3	答え 1 自分の娘を天皇の后とし、その間に生まれた子を次の天皇に立てることで、天皇の母方の祖父として政治を補佐する仕組み	藤原氏は、娘を天皇の后（きさき）にするという婚姻関係を繰り返すことで、天皇との親戚関係（外戚関係）を築きました。これにより、天皇が幼少のときは「摂政」、成人したあとは「関白」という役職に就き、政治の実権を独占しました。藤原道長は4人の娘を次々と天皇の后にすることで、この体制の全盛期を築きました。選択肢にある武力による支配や、天皇の退位後に実権を握る院政とは異なる、婚姻を軸とした政治体制です。
問4	答え 3 比叡山に延暦寺を建立して天台宗を広め、国家の平安を祈るとともに、多くの優れた僧を育成した。	平安時代初期の仏教は、奈良時代の僧侶が政治に深く関与しすぎた反省から、都から離れた山岳地帯に寺院を構える傾向がありました。最澄が比叡山に建てた延暦寺は、単なる修行の場としてだけでなく、当時の学問の最高府としての役割も果たし、日本仏教の発展に大きく寄与しました。なお、社会事業を行ったのは奈良時代の行基、戒律を伝えたのは唐の鑑真です。
問5	答え 1 大輪田泊（現在の神戸市）を修築し、中国の宋（北宋・南宋）との貿易を積極的に推進した。	平清盛は、武力だけでなく経済力によって権力を維持しようと考えました。当時、中国大陆を支配していた宋（南宋）との貿易（日宋貿易）に目をつけ、大型船が入港できるように現在の神戸市にあたる大輪田泊を大規模に改修しました。この貿易を通じて、日本からは金や硫黄などを輸出し、宋からは宋銭（銅銭）や絹織物、陶磁器などを輸入しました。特に宋銭が国内に大量に流入したことは、後の日本の貨幣経済の発展に大きな影響を与えました。
問6	答え 3 天台宗	最澄は804年に遣唐使とともに唐へ渡り、帰国後、比叡山延暦寺を総本山として天台宗を開きました。この宗派は、後に鎌倉新仏教を創始する法然や親鸞、道元、日蓮らが修行した場所としても知られ、日本仏教の歴史において極めて重要な役割を果たしました。
問7	答え 3 阿弥陀仏の救いを信じ、念仏を唱えることで、死後に苦しみのない世界へ生まれ変われることを願った。	平安時代後期には、仏教の教えが衰える「末法」の世が来るとする末法思想が広まり、人々の間で死後の不安が高まりました。これに対し、阿弥陀仏にすがり念仏を唱えることで極楽浄土に救われるという浄土信仰が支持を集め、平等院鳳凰堂のような建築物も造られました。座禅は鎌倉時代の禅宗、題目は同じく鎌倉時代の日蓮宗、現世利益を重視する傾向は平安初期の密教などで強く見られる特徴です。
問8	答え 3 院政	1086年に白河上皇が始めた政治体制です。それまで藤原氏が摂政や関白として政治を動かしていた摂関政治に対し、天皇の父や祖父である上皇が自ら政治を行うことで、藤原氏の影響力を排除し、皇室に実権を取り戻そうとしました。
問9	答え 2 宋との貿易を盛んに行い、輸入された大量の銅銭は日本国内で貨幣として流通し、経済の活性化につながった。	平清盛は、自身の権力基盤を強化するために日宋貿易を主導しました。現在の神戸市にあたる大輪田泊を整備して大型船の出入港を可能にし、宋から輸入された「宋銭（銅銭）」は国内で広く使われるようになり、貨幣経済の発展に大きく寄与しました。他の選択肢にある「唐」は平安時代中期以前、「元」は鎌倉時代、「明」は室町時代の出来事であり、時代背景が異なります。
問10	答え 3 国風文化	894年に菅原道真の建議によって遣唐使が停止されたことで、中国との公的な交流が途絶えました。これをきっかけに、それまでの唐の影響を強く受けた文化から、日本独自の感性を反映した文化へと発展しました。
問11	答え 2 藤原氏が摂政や関白の職を独占する摂関政治が行われ、貴族の間で極楽浄土への往生を願う浄土信仰が広まった。	平等院鳳凰堂は、平安時代後期の1053年に藤原頼通によって建立されました。この時期は藤原氏が摂政や関白として権力を握る摂関政治の全盛期にあたります。当時の社会には末法思想が広まっており、死後に阿弥陀如来のいる極楽浄土へ生まれ変われることを願う浄土信仰が貴族から庶民まで浸透していました。鳳凰堂はその極楽浄土の様子をこの世に再現しようとした建築物です。
問12	答え 2 摂関政治	藤原氏が「摂政」と「関白」という重要な職について行った政治であるため、摂関政治と呼ばれます。院政は白河上皇などが天皇を退位した後に行った政治、武家政治は平清盛や源頼朝以降の武士による政治、執権政治は鎌倉幕府において北条氏が補佐役として行った政治です。
問13	答え 1 貿易による膨大な利益を独占し、平氏一族の経済的・政治的な勢力を強化するため	武士として初めて政治の実権を握った平清盛は、従来の荘園からの年貢だけに頼るのではなく、日宋貿易による莫大な利益に着目しました。大輪田泊を整備して宋の商船を直接引き入れることで、経済的な基盤を固め、平氏全盛の時代を築く原動力としました。他の選択肢にある「白村江の戦い」は7世紀、「卑弥呼」は3世紀、「小野妹子」は7世紀初頭の出来事であり、時代が異なります。

- 問1 平安時代初期に最澄や空海によってもたらされた新しい仏教は、それまでの奈良時代の仏教と異なり、政治の場から離れて山の中で厳しい修行を行うことを重視しました。最澄が伝えた教えとその活動に関する説明として最も適切なものはどれですか。 (2016年 岐阜県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|--|--|--|
| 1. 唐から日本へ正しい戒律を伝えるために、何度も遭難を繰り返しながら来日し、唐招提寺を建立した。 | 2. 朝廷から布教を禁じられながらも、溜池の造成や橋の架け替えなどの社会事業を通じて民衆に教えを説いた。 | 3. 高野山に金剛峯寺を建立して真言宗を広め、加持祈祷などの密教の儀式を体系化した。 | 4. 比叡山に延暦寺を建立して天台宗を広め、国家の平安を祈るとともに、多くの優れた僧を育成した。 |
|---|--|--|--|
-
- 問2 平安時代中期に、女性の手によって『源氏物語』や『枕草子』などの優れた文学作品が数多く生まれた背景として、最も適切な説明はどれか。 (2022年 京都府公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|--|---|
| 1. 漢字を簡略化した「かな文字」が考案され、日本特有の感情や情景を表現しやすくなったため。 | 2. 武士が政治の実権を握り、実用的な知識よりも教養としての文学が推奨されたため。 | 3. 遣唐使を通じて唐の新しい文学様式が伝わり、女性の宮廷官吏がそれを模倣したため。 | 4. 南蛮貿易によって活版印刷の技術が伝わり、女性の間でも執筆活動が容易になったため。 |
|--|---|--|---|
-
- 問3 平安時代後期、白河天皇が位を後継者に譲って上皇となった後も、引き続き政治の実権を握った政治形態を何といいますか。 (2023年 徳島県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|---------|-------|-------|
| 1. 摂関政治 | 2. 武家政治 | 3. 親政 | 4. 院政 |
|---------|---------|-------|-------|
-
- 問4 平清盛の家系について記された系譜資料には、清盛の父である忠盛から、清盛、そしてその子の重盛や宗盛へと続く武家としての流れが示されています。これに加え、清盛が朝廷内での地位を確立するために行った婚姻政策についても読み取ることができます。清盛が自身の娘を天皇の后とした政治的な目的として、最も適切な説明はどれですか。 (2023年 京都府公立入試 類似)
- | | | | |
|------------------------------------|----------------------------------|--------------------------------------|-----------------------------------|
| 1. 宋（中国）との貿易を独占するための許可を、天皇から直接得るため | 2. 天皇の母方の祖父という立場になり、政治の実権を掌握するため | 3. 地方の武士団との血縁関係を強め、全国的な軍事ネットワークを築くため | 4. 武士の身分のまま、天皇に代わって「院政」を行う権利を得るため |
|------------------------------------|----------------------------------|--------------------------------------|-----------------------------------|
-
- 問5 平清盛が推進した日宋貿易は、当時の日本の経済に大きな変化をもたらしました。宋から輸入され、後の日本国内における貨幣経済の普及に決定的な役割を果たしたものは何ですか。 (2022年 香川県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------|-----------|-------|------|
| 1. 鉄砲 | 2. 宋銭（銅銭） | 3. 生糸 | 4. 銀 |
|-------|-----------|-------|------|
-
- 問6 平安時代中期、菅原道真の建議によって遣唐使が廃止されたことを一つのきっかけとして、日本の風土や日本人の感情に合った「国風文化」が発展しました。この時期に醍醐天皇の命によって編纂された、日本で最初の「勅撰和歌集」の名称として正しいものを選びなさい。 (2026年 京都府公立入試 類似)
- | | | | |
|--------|----------|-----------|---------|
| 1. 万葉集 | 2. 古今和歌集 | 3. 新古今和歌集 | 4. 平家物語 |
|--------|----------|-----------|---------|
-
- 問7 藤原道長や藤原頼通が、約100年間にわたって政治の実権を握り続けることができた理由を説明した文として、最も適切なものはどれですか。 (2025年 福岡県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------------------------------------|---------------------------------------|--|--|
| 1. 位を退いて上皇となり、天皇に代わって「院」で政治の決定を行ったため。 | 2. 唐の制度にならって律令を整備し、中央集権的な官僚機構を確立したため。 | 3. 有力な武士団を組織し、武力によって朝廷から独立した政権を樹立したため。 | 4. 娘を天皇のきさきとし、生まれた子を天皇に即位させて、その母方の親戚として実権を握ったため。 |
|---------------------------------------|---------------------------------------|--|--|
-
- 問8 平安時代初期に最澄によって開かれた仏教について、その後の歴史に与えた影響や特徴を説明した文として正しいものはどれですか。 (2024年 愛媛県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|---|---|
| 1. 最澄が開いた天台宗は、貴族の間に深く浸透し、後に法然や親鸞が浄土真宗を開く際の直接的な教義となった。 | 2. 最澄は、都から離れた山奥で修行するのではなく、東大寺などの南都六宗の勢力と協力して政治を支えた。 | 3. 最澄が開いた天台宗の拠点である比叡山は、後に鎌倉新仏教の開祖たちを多く輩出する修行の場となった。 | 4. 最澄は、遣唐使として空海と同じ船で唐に渡り、帰国後は空海とともに真言宗を広めることに努めた。 |
|---|---|---|---|
-
- 問9 院政が行われていた時期、皇位継承や摂関家の内紛に武士が動員されるようになり、武士の政治的地位が高まるきっかけとなった1156年の出来事として正しいものを選んでください。 (2020年 岐阜県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|---------|------------|---------|
| 1. 保元の乱 | 2. 承久の乱 | 3. 治承・寿永の乱 | 4. 平治の乱 |
|---------|---------|------------|---------|
-
- 問10 1086年に子の堀河天皇に位を譲った後、上皇として初めて本格的な院政を開始した人物は誰ですか。 (2018年 三重県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|---------|---------|----------|
| 1. 桓武天皇 | 2. 聖武天皇 | 3. 白河天皇 | 4. 後醍醐天皇 |
|---------|---------|---------|----------|
-
- 問11 東北地方の歴史について述べた次の文のうち、当時の状況を正しく説明しているものはどれですか。かつて朝廷軍を打ち破ったこともある蝦夷のリーダーと、その後に派遣された政府側の人物の関係に注目して選びなさい。 (2015年 佐賀県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|--|--|
| 1. 蝦夷の指導者であった足利尊氏は、朝廷から派遣されたアテルイによって捕らえられた。 | 2. 蝦夷の指導者であった平将門は、朝廷から派遣された坂上田村麻呂に敗北した。 | 3. 蝦夷の指導者であったアテルイは、朝廷から派遣された坂上田村麻呂に降伏した。 | 4. 蝦夷の指導者であったアテルイは、朝廷から派遣された源頼朝を北九州で迎え撃った。 |
|---|---|--|--|
-
- 問12 平安時代の古記録には、永延3年8月に彗星が現れたという記述や、長保元年に大内裏で火災が発生したという記録が残されています。これらの事実に関連して当時の元号が改められた背景として、正しい説明はどれですか。 (2026年 愛知県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|--|--|
| 1. 災いが発生した際に、遷都を行う代わりに元号を改めて政治の刷新を図ることが通例だった | 2. 彗星などの天体観測技術が向上したことを記念して、定期的に改元する制度が確立した | 3. 大内裏の火災によって国家の儀式が不可能になったため、天皇が交代し改元された | 4. 彗星の出現や大規模な火災を不吉な予兆と捉え、それを断ち切るために改元が行われた |
|--|--|--|--|
-
- 問13 平安時代中期に栄えた「国風文化」の説明として最も適切なものを、次のうちから1つ選びなさい。 (2025年 熊本県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|--|---------------------------------------|
| 1. 武士の精神と禅宗の影響が結びつき、質素で深みのある美しさを表現した文化 | 2. ヨーロッパとの貿易を通じて、キリスト教や油絵などの西洋技術を取り入れた文化 | 3. 聖武天皇の時代を中心に、仏教の影響を強く受けて唐の文化を取り入れた文化 | 4. 中国文化の影響を受けつつも、日本人の生活や感情に合わせて発展した文化 |
|--|--|--|---------------------------------------|

答え合わせ・解説

問1	答え 4 比叡山に延暦寺を建立して天台宗を広め、国家の平安を祈るとともに、多くの優れた僧を育成した。	平安時代初期の仏教は、奈良時代の僧侶が政治に深く関与しすぎた反省から、都から離れた山岳地帯に寺院を構える傾向がありました。最澄が比叡山に建てた延暦寺は、単なる修行の場としてだけでなく、当時の学問の最高府としての役割も果たし、日本仏教の発展に大きく寄与しました。なお、社会事業を行ったのは奈良時代の行基、戒律を伝えたのは唐の鑑真です。
問2	答え 1 漢字を簡略化した「かな文字」が考案され、日本特有の感情や情景を表現しやすくなったため。	国風文化の時期には、漢字から派生した「かな文字（ひらがな・カタカナ）」が広く使われるようになりました。これにより、従来の漢文では表現しにくかった微妙な感情や日常の様子を日本語で表現できるようになり、紫式部や清少納言などの女性による優れた文学作品が誕生しました。
問3	答え 4 院政	白河上皇が1086年に始めた政治形態で、天皇の父や祖父が上皇（または法皇）として「院庁」という役所を拠点に実権を握る仕組みです。これにより、それまで藤原氏が摂政や関白として行使していた権力を抑え、皇室が自ら主導権を取り戻すことを目指しました。
問4	答え 2 天皇の母方の祖父という立場になり、政治の実権を掌握するため	平清盛は武士の出身でありながら、公家社会の頂点に立つために藤原氏と同じ「外戚」の地位を狙いました。娘の徳子を天皇と結婚させ、生まれた子を天皇（安徳天皇）に立てることで、自分は天皇の祖父として後見人となり、朝廷の政治を動かしました。これは武士による支配が始まりつつも、まだ従来の貴族社会の仕組みを利用して権力を拡大しようとした過渡期の特徴です。
問5	答え 2 宋銭（銅銭）	日宋貿易を通じて大量の宋銭が日本に流入しました。これにより、それまでの物々交換を中心とした経済から、貨幣を用いた取引へと移行するきっかけが作られました。宋銭は平氏の滅亡後も、鎌倉時代や室町時代に至るまで日本の主要な通貨として流通し続けました。鉄砲の伝来は戦国時代、生糸や銀の大量取引は後の朱印船貿易などで顕著になります。
問6	答え 2 古今和歌集	遣唐使の廃止以降、それまで取り入れてきた中国の文化を日本の風土に合わせて消化・吸収した国風文化が栄えました。この文化のなかで、漢字を簡略化した「かな文字」が発達し、紀貫之らが中心となって最初の勅撰和歌集（天皇の命令で編集された和歌集）である『古今和歌集』がまとめられました。『万葉集』は奈良時代、『新古今和歌集』は鎌倉時代初期、『平家物語』は鎌倉時代に成立した軍記物語です。
問7	答え 4 娘を天皇のきさきとし、生まれた子を天皇に即位させて、その母方の親戚として実権を握ったため。	平安時代中期の藤原北家は、天皇との血縁関係、特に「母方の親戚（外戚）」という立場を独占することで勢力を拡大しました。道長の娘である彰子が一条天皇のきさきとなり、その子が後一条天皇として即位した例のように、代々の天皇と密接な親戚関係を築くことで、摂政や関白として長期にわたる政治をコントロールしました。位を退いた上皇が政治を行うのは「院政」、武力による政治は「武家政治」であり、摂関政治とは区別されます。
問8	答え 3 最澄が開いた天台宗の拠点である比叡山は、後に鎌倉新仏教の開祖たちを多く輩出する修行の場となった。	最澄が比叡山に開いた延暦寺は、平安時代を通じて日本仏教の中心的な教育機関のような役割を果たしました。後に鎌倉時代に新しい仏教を創始した法然、親鸞、道元、日蓮などの僧侶たちは、いずれも若い頃に比叡山で修行を積んでおり、天台宗は「日本仏教の母」とも呼ばれるほど大きな影響力を持っていました。
問9	答え 1 保元の乱	崇徳上皇と後白河天皇の対立に、摂関家や源氏・平氏の武士が加わって戦ったのが保元の乱です。この戦乱を通じて、朝廷内の争いも武士の力なしには解決できないことが明らかになり、武士が政治の表舞台に登場する大きな転換点となりました。その後の1159年に起こった平治の乱を経て、平清盛が主導権を握ることになります。
問10	答え 3 白河天皇	白河天皇は、幼い堀河天皇に位を譲った後も上皇として実権を握り、自らの直属の軍勢力として「北面の武士」を置くなどして権力を強化しました。これが約100年続く院政の始まりとなりました。
問11	答え 3 蝦夷の指導者であったアテルイは、朝廷から派遣された坂上田村麻呂に降伏した。	東北地方に住んでいた蝦夷の人々は、アテルイという指導者のもとで一時は朝廷軍を撃退するほどの激しい抵抗を見せました。しかし、桓武天皇によって派遣された坂上田村麻呂が軍を進め、現在の岩手県に胆沢城を築くなどして支配を強めると、アテルイは最終的に坂上田村麻呂に降伏しました。
問12	答え 4 彗星の出現や大規模な火災を不吉な予兆と捉え、それを断ち切るために改元が行われた	当時の人々は、彗星の出現を「天変」として、また大内裏の火災などを国家の危機として非常に恐れました。これらは社会不安に直結したため、元号を変える（改元する）ことで悪い流れを断ち切ろうとしました。明治時代以降の「一世一元の制（天皇一人につき元号一つ）」とは異なり、平安時代には天災や吉事などに応じて柔軟に改元が行われていたのが特徴です。
問13	答え 4 中国文化の影響を受けつつも、日本人の生活や感情に合わせて発展した文化	遣唐使の停止などを背景に、それまで受け入れた中国文化を消化・吸収しながら、日本の風土や感情に合った独自の文化が生まれました。これを国風文化と呼び、紫式部の作品などにみられるように、かな文字を使った文学が盛んになりました。

- 問1 平安時代、11世紀頃の日本の歴史について述べた資料において、当時の文化の広まりとともに、漢字を簡略化したり、その一部を取ったりして作られた日本独自の文字を用いて『源氏物語』が執筆されたことが示されています。この時、新しく生み出された文字を何といいますか。
(2019年 鹿児島県公立入試 類似)
1. 万葉仮名 2. 仮名文字 3. 象形文字 4. ハングル
- 問2 平安時代末期、武士として初めて太政大臣の官職に就き、政治の実権を握った人物は誰ですか。この人物は、現在の神戸市にあたる大輪田泊を整備し、中国との貿易を積極的に進めたことでも知られています。
(2019年 岩手県公立入試 類似)
1. 源頼朝 2. 平清盛 3. 北条時宗 4. 足利義満
- 問3 平安京への遷都から鎌倉幕府の成立に至るまでの約400年間の変遷について、政治体制の変化を説明した記述として最も適切なものはどれですか。
(2017年 岐阜県公立入試 類似)
1. 天皇を中心とした律令政治の再建を目指して始まったが、のちに藤原氏による摂関政治や上皇による院政が行われ、最終的に武士が実権を握る体制へと移行した。
2. 地方の豪族を統制するために墾田永年私財法を廃止したが、荘園の拡大を止めることができず、最終的に足利氏が幕府を開いて地方分権を進めた。
3. 大陸との交易を完全に遮断するために都を移したが、平氏による日宋貿易の拡大をきっかけとして、再び中国との朝貢貿易を中心とする国家に戻った。
4. 聖徳太子の摂政就任により中央集権国家の基礎が築かれたが、貴族の勢力争いが激化したことで、天皇が直接政治を行う親政が最後まで維持された。
- 問4 11世紀半ばの日本では、仏教の教えが衰える時代が来るとする末法思想が広まり、死後に極楽浄土へ生まれ変わることを願う信仰が盛んになりました。この信仰に基づき、時の摂政・関白であった人物が宇治に建立し、阿弥陀如来像を安置した建築物を次から選びなさい。
(2018年 群馬県公立入試 類似)
1. 平等院鳳凰堂 2. 日光東照宮 3. 伊勢神宮 4. 唐招提寺
- 問5 奥州藤原氏が拠点とした平泉に建立され、建物全体が金箔で覆われ、内部の祭壇や仏像が豪華に装飾されている、当時の東北地方の経済力と高い文化水準を象徴する建物の名称を選びなさい。
(2024年 静岡県公立入試 類似)
1. 平等院鳳凰堂 2. 鹿苑寺金閣 3. 厳島神社 4. 中尊寺金色堂
- 問6 平安時代、藤原氏が天皇の外戚（母方の親戚）として権力を握った政治体制において、天皇が幼少のときにその代わりを務めた役職と、天皇が成人した後にその補佐を執り行った役職の組み合わせとして正しいものを選びなさい。
(2020年 徳島県公立入試 類似)
1. 摂政と関白 2. 上皇と法皇 3. 将軍と執権 4. 太政大臣と右大臣
- 問7 桓武天皇が794年に、都をそれまでの平城京から平安京へと移した主な理由として、当時の政治的背景を正しく説明しているものはどれですか。
(2014年 愛媛県公立入試 類似)
1. 全国で流行した疫病を鎮めるために、大仏を建立するための新しい土地が必要だったため
2. 平城京が相次ぐ洪水や地震によって壊滅的な被害を受け、都としての機能を失ったため
3. 唐の長安を模した都を初めて建設することで、日本の国威を海外に示すため
4. 奈良の大きな寺院などの仏教勢力が政治に介入するのを防ぎ、天皇中心の政治を立て直すため
- 問8 8世紀末から9世紀初めにかけて、遣唐使とともに唐へ渡って仏教を学び、帰国後に比叡山を拠点として天台宗を広めた人物は誰ですか。
(2025年 岐阜県公立入試 類似)
1. 行基 2. 最澄 3. 空海 4. 鑑真
- 問9 藤原道長が、「この世をば わが世とぞ思う 望月の 欠けたることもなしと思えば」という歌を詠んだ時期の背景として、最も適切なものはどれか。
(2016年 千葉県公立入試 類似)
1. 律令制度が崩壊するなかで、独自の新しい法律を制定し、天皇に代わって直接国を統治するようになった。
2. 源氏や平氏といった武士の台頭を抑え込み、貴族だけの平和な世の中を維持することに成功した。
3. 末法思想が広まり社会が不安に包まれるなか、極楽浄土へ行ける確信を得たことを感謝した。
4. 自らの三人の娘がそれぞれ天皇のきさきとなり、摂政・関白として権力の絶頂に達していた。
- 問10 平安時代中期、遣唐使の廃止などを背景に日本の風土に合った国風文化が栄えました。この時期にかな文字を用いて執筆され、主人公である光源氏の生涯を描いた、世界最古の長編小説とも評される文学作品を選びなさい。
(2024年 島根県公立入試 類似)
1. 源氏物語 2. 枕草子 3. 竹取物語 4. 更級日記
- 問11 日本の歴史における支配体制の変遷を整理した際、鎌倉・室町・江戸の三つの幕府はいずれも武士による政治を行いました。それ以前の桓武天皇の時代には異なる政治の仕組みが追求されていました。桓武天皇が平安京へ遷都した主な目的とその内容について述べた文として、最も適切なものを選びなさい。
(2026年 岡山県公立入試 類似)
1. 大陸との貿易を統制して将軍の財政基盤を固め、南北に分かれていた朝廷を統一するため。
2. 大名を親藩・譜代・外様に分けて配置し、武家諸法度などの法律で厳格に統制するため
3. 守護や地頭を全国に配置して土地の管理を武士に委ね、地方の治安維持を強化するため。
4. 奈良の仏教勢力の影響を排除し、天皇が官僚を通じて全国を直接支配する律令政治を再建するため。
- 問12 平安時代初期に空海や最澄がそれぞれ新しい宗派を開いた背景には、当時の仏教のあり方に対する強い危機感がありました。その背景として最も適切な説明を次の中から選びなさい。
(2017年 神奈川県公立入試 類似)
1. 遣唐使が廃止されたことで大陸との交流が途絶え、日本独自の仏教をゼロから作り直す必要が生じた。
2. 大規模な飢饉や疫病が流行したため、文字の読めない庶民でもすぐに救われるような簡単な教えが求められた。
3. 武士が政治の実権を握り始めたため、戦乱による社会不安を取り除くための新しい救済策が必要となった。
4. 奈良時代に仏教が政治と密接に結びついて権力を持ったため、そこから距離を置いて修行に専念しようとした。
- 問13 平安時代中期、遣唐使の廃止などをきっかけに、日本の風土や生活に合わせた独自の文化が発達しました。かな文字の使用により『源氏物語』などの優れた文学作品が生み出された、この時期の文化の名称として正しいものを選びなさい。
(2023年 大阪府公立入試 類似)
1. 国風文化 2. 弘仁・貞観文化 3. 平泉文化 4. 天平文化

答え合わせ・解説

問1	答え 2 仮名文字	平安時代中期、遣唐使の廃止などを背景に日本の風土や感性に合った「国風文化」が発達しました。この時期に、漢字を崩して書く「ひらがな」や、漢字の一部を取った「カタカナ」といった「かな（仮名文字）」が発明されました。これにより、漢字だけでは表現しにくかった日本人の感情や考えを自由に書き記すことが可能になり、紫式部による『源氏物語』などの優れた宮廷文学が誕生しました。
問2	答え 2 平清盛	平清盛は伊勢平氏の出身で、保元・平治の乱を経て武士として初めて最高官職である太政大臣に就任し、「平氏にあらずんば人にあらず」と言われるほどの全盛期を築きました。経済面では日宋貿易を重視し、大型船の航行を安全にするために瀬戸内海の航路を整備したり、大輪田泊の修築を行ったりしました。
問3	答え 1 天皇を中心とした律令政治の再建を目指して始まったが、のちに藤原氏による摂関政治や上皇による院政が行われ、最終的に武士が実権を握る体制へと移行した。	平安時代は、桓武天皇が奈良の仏教勢力の影響を離れ、律令政治を立て直そうとして平安京へ遷都したことに始まります。しかし、時代が進むにつれて藤原氏が摂政・関白として権力を振るう摂関政治や、退位した天皇が政治を行う院政が展開されました。その過程で軍事力を持つ武士が台頭し、源氏が鎌倉幕府を樹立することで中世へと時代が変わりました。
問4	答え 1 平等院鳳凰堂	平安時代中期、藤原頼通によって建立されたこの建築物は、阿弥陀如来を本尊とし、当時の貴族の間で流行した浄土信仰を象徴しています。池の中に建てられた姿は、極楽浄土の宮殿を再現しようとしたものと言われています。
問5	答え 4 中尊寺金色堂	藤原清衡が、相次ぐ戦乱で亡くなった人々を敵味方の区別なく供養し、仏の教えに基づいた平和な理想郷を建設しようとして建立しました。当時、東北地方で豊富に産出された金（産金）や、海外との交易で得られた螺鈿（らでん）細工などが贅沢に使われており、北方の王者にふさわしい富を示しています。
問6	答え 1 摂政と関白	平安時代中期、藤原氏は自分の娘を天皇の妃にし、生まれた子を次の天皇に立てることで、天皇の母方の祖父や叔父として政治の実権を握りました。このとき、天皇がまだ幼い時期には「摂政」として、成人してからは「関白」として政務を独占する形態を摂関政治と呼びます。藤原道長やその子の頼通の時代に、この政治体制は全盛期を迎えました。
問7	答え 4 奈良の大きな寺院などの仏教勢力が政治に介入するのを防ぎ、天皇中心の政治を立て直すため	奈良時代後半には僧の道鏡が政治に関与するなど、仏教勢力が政治に強い影響力を持つようになっていました。桓武天皇は、これら古いしがらみがある奈良の土地から離れることで、律令に基づいた政治の刷新を図りました。一方、疫病を鎮めるために大仏を建立したのは奈良時代の聖武天皇の事績です。
問8	答え 2 最澄	平安遷都を行った桓武天皇の支持を受け、比叡山に延暦寺を建立して天台宗を開きました。同時期に活躍した空海は高野山を拠点に真言宗を、鑑真は奈良時代に戒律を伝えた人物、行基は民衆への布教と大仏造営への協力で知られる人物です。これらを混同しないよう区別する必要があります。
問9	答え 4 自らの三人の娘がそれぞれ天皇のきさきとなり、摂政・関白として権力の絶頂に達していた。	この歌は、藤原道長の三女である威子が天皇の中宮（きさき）になった際の祝宴で詠まれたものです。道長は自分の娘を次々と天皇の后にすることで、後の天皇の祖父という確固たる地位を築きました。この満月（望月）に例えた表現は、摂関政治が最も繁栄した時期の様子を象徴しています。道長と、その後の頼通の父子の時代が、藤原氏の全盛期にあたります。
問10	答え 1 源氏物語	平安時代には、漢字を日本風に崩した「かな文字」が普及したことで、貴族の女性らによる優れた文学作品が多く誕生しました。一条天皇の後である彰子に仕えた紫式部は、当時の貴族社会の人間模様を精密に描いた『源氏物語』を執筆しました。これは全54帖からなる壮大な長編小説であり、日本を代表する古典文学として知られています。
問11	答え 4 奈良の仏教勢力の影響を排除し、天皇が官僚を通じて全国を直接支配する律令政治を再建するため。	桓武天皇が目指したのは、武士が台頭する以前の、律令に基づく天皇中心の中央集権体制の立て直しです。当時、平城京（奈良）では寺院勢力が政治に深く介入するようになっていたため、そこから物理的に距離を置くために遷都が強行されました。選択肢にある守護・地頭の設置は鎌倉時代、南北朝の統一は室町時代、幕藩体制の構築は江戸時代の特徴であり、桓武天皇の政策とは時代背景が異なります。
問12	答え 4 奈良時代に仏教が政治と密接に結びついて権力を持ったため、そこから距離を置いて修行に専念しようとした。	奈良時代の仏教は国家の保護を強く受け、僧侶が政治に深く関与するようになっていました。桓武天皇による平安京への遷都も、こうした奈良の仏教勢力の影響を断ち切る目的がありました。空海らは、政治の影響を受けにくい山の中に拠点を構え、学問や厳しい修行といった仏教本来の姿を追求しました。これが真言宗や天台宗といった新しい仏教が貴族の間で受け入れられた大きな理由です。
問13	答え 1 国風文化	894年に遣唐使が廃止されると、それまで中国から取り入れてきた文化を、日本人の感性や生活に合わせて消化・吸収する動きが強まりました。これを国風文化と呼びます。この文化の特徴は、漢字を崩して作られた「かな文字」の発達にあり、これによって貴族女性らによる豊かな文学表現が可能となりました。

- 問1 平安時代中期には、紫式部が『源氏物語』を、清少納言が『枕草子』を記すなど、女性による優れた文学作品が数多く誕生しました。このような文学が発展した背景にある、文字の歴史的な変化を説明したものとして最も適切なものはどれか。 (2023年 熊本県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|---|---|
| 1. 漢字の音をそのまま借りて日本語を表記する「万葉仮名」が考案され、公式の場でも女性が自由に漢字を操れるようになったため。 | 2. 漢字を簡略化したり一部を抜き出したりした「かな文字」が普及し、心情や情景を日本語で自由に表現できるようになったため。 | 3. 仏教の経典を読みやすくするために、漢字の横にカタカナに似た記号を添える記述法が、物語の執筆に転用されたため。 | 4. 遣唐使によって最新の中国の文字が導入され、それが宮廷の女性たちの間で共通言語として広まったため。 |
|--|---|---|---|
- 問2 平安時代の建築や彫刻は、当時の信仰と深く結びついていました。当時の代表的な建造物の特徴を説明した資料において、内部に阿弥陀如来像を安置し、壁画などで極楽浄土の様子を再現しようとした藤原氏ゆかりの建物は何ですか。 (2019年 静岡県公立入試 類似)
- | | | | |
|-----------|----------|-----------|-----------|
| 1. 東大寺大仏殿 | 2. 鹿苑寺金閣 | 3. 平等院鳳凰堂 | 4. 法隆寺五重塔 |
|-----------|----------|-----------|-----------|
- 問3 平安時代に紫式部が『源氏物語』を執筆した際の時代背景について述べたものとして、最も適切な説明を選びなさい。 (2024年 島根県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|---|--|---|
| 1. 大陸との交流が盛んになり、最新の唐の文学理論をそのまま取り入れることが奨励された。 | 2. 仏教を広めるために幕府が平易な文字の使用を命じ、庶民の間で娯楽としての読書が急速に普及した。 | 3. 遣唐使の廃止にともない、日本の風土や生活に合わせた国風文化が発達し、かな文字による表現が広がった。 | 4. 武士が政治の実権を握り、素朴で力強い文化が好まれたため、戦の様子を伝える文学が主流となった。 |
|--|---|--|---|
- 問4 平安時代初期、最澄が唐から伝えた教えをもとに、比叡山延暦寺を拠点として日本に広めた仏教の宗派を何といいますか。 (2018年 和歌山県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------|--------|--------|--------|
| 1. 禅宗 | 2. 浄土宗 | 3. 真言宗 | 4. 天台宗 |
|-------|--------|--------|--------|
- 問5 平安時代中期、かな文字が普及したことで独自の文学が発展しました。その中で、清少納言によって執筆された、四季の情景などを鋭い感性で記した日本を代表する随筆は何ですか。 (2022年 静岡県公立入試 類似)
- | | | | |
|---------|--------|---------|---------|
| 1. 竹取物語 | 2. 枕草子 | 3. 源氏物語 | 4. 土佐日記 |
|---------|--------|---------|---------|
- 問6 1086年に子の堀河天皇に位を譲った後、上皇として初めて本格的な院政を開始した人物は誰ですか。 (2018年 三重県公立入試 類似)
- | | | | |
|----------|---------|---------|---------|
| 1. 後醍醐天皇 | 2. 白河天皇 | 3. 桓武天皇 | 4. 聖武天皇 |
|----------|---------|---------|---------|
- 問7 平安時代後期に、現在の岩手県にあたる地域を拠点とし、独自の仏教文化を築き上げた豪族を何と呼びますか。また、その拠点となった地名との組み合わせとして適切なものを選びなさい。 (2023年 神奈川県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------------|-------------|----------------|---------------|
| 1. 足利氏 — 平泉 | 2. 源氏 — 多賀城 | 3. 奥州藤原氏 — 多賀城 | 4. 奥州藤原氏 — 平泉 |
|-------------|-------------|----------------|---------------|
- 問8 10世紀の平安時代において、それまでの唐の文化の影響を強く受けた段階から、日本の風土や生活、日本人の感性に合わせた独自の特色を持つ文化が発展しました。この文化を何と呼びますか。 (2022年 大阪府公立入試 類似)
- | | | | |
|-----------|---------|---------|---------|
| 1. 安土桃山文化 | 2. 鎌倉文化 | 3. 国風文化 | 4. 天平文化 |
|-----------|---------|---------|---------|
- 問9 平安時代初期に最澄によって開かれた仏教について、その後の歴史に与えた影響や特徴を説明した文として正しいものはどれですか。 (2024年 愛媛県公立入試 類似)
- | | | | |
|---|---|---|---|
| 1. 最澄が開いた天台宗の拠点である比叡山は、後に鎌倉新仏教の開祖たちを多く輩出する修行の場となった。 | 2. 最澄が開いた天台宗は、貴族の間に深く浸透し、後に法然や親鸞が浄土真宗を開く際の直接的な教義となった。 | 3. 最澄は、遣唐使として空海と同じ船で唐に渡り、帰国後は空海とともに真言宗を広めることに努めた。 | 4. 最澄は、都から離れた山奥で修行するのではなく、東大寺などの南都六宗の勢力と協力して政治を支えた。 |
|---|---|---|---|
- 問10 桓武天皇は、朝廷の支配力を高めるために東北地方へ大規模な軍を派遣しました。このとき、軍の総大将として任命され、蝦夷（えみし）の抵抗を抑えて現在の岩手県に胆沢城を築くなどの成果を上げた人物と、その官職名の組み合わせとして正しいものはどれですか。 (2018年 富山県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------------------|---------------|-----------------|-----------------|
| 1. 坂上田村麻呂 — 征夷大將軍 | 2. 小野妹子 — 遣隋使 | 3. 中大兄皇子 — 太政大臣 | 4. 足利尊氏 — 征夷大將軍 |
|-------------------|---------------|-----------------|-----------------|
- 問11 平安時代の中期以降、地方の有力者が自ら開発した土地を中央の有力貴族や大寺社に寄進し、名目上の領主になってもらう動きが広がりました。この仕組みにおいて、寄進を行った地方の有力者の主な目的として最も適切なものはどれですか。 (2023年 香川県公立入試 類似)
- | | | | |
|-----------------------------|-----------------------------------|--------------------------------|-----------------------------------|
| 1. 天皇から直接、新しい農具や肥料の提供を受けること | 2. 国司による重い税負担を回避し、土地の支配権を実質的に守ること | 3. 土地をすべて国有化し、朝廷の役人として給料をもらうこと | 4. 班田収授法に基づいて、土地を周辺の農民へ平等に再分配すること |
|-----------------------------|-----------------------------------|--------------------------------|-----------------------------------|
- 問12 平安時代後期には、仏教の教えが衰える「末法」の世が来るとする不安から、阿弥陀如来を信仰して死後に極楽浄土へ生まれ変わることを願う考え方が広まりました。藤原頼通が建立した平等院鳳凰堂の背景にもある、この信仰を何というか。 (2018年 鳥取県公立入試 類似)
- | | | | |
|-------|-------|---------|---------|
| 1. 禅宗 | 2. 密教 | 3. 浄土信仰 | 4. 法華信仰 |
|-------|-------|---------|---------|
- 問13 平安時代中期に藤原氏が確立した「摂関政治」において、彼らが政治の実権を握り続けるために用いた最も主要な手段として適切なものはどれですか。 (2023年 長崎県公立入試 類似)
- | | | | |
|--|--|---|--|
| 1. 中大兄皇子が天智天皇として即位したように、律令に基づいた天皇中心の中興集権的な政治改革を主導した。 | 2. 自身の娘を天皇のきさきとして送り込み、その間に生まれた子を次の天皇に立てることで、天皇の親戚（外戚）として政治を補佐した。 | 3. 地方の有力な武士団を直接組織し、武力によって反対勢力の貴族を排除することで、摂政や関白の地位を世襲した。 | 4. 天皇の地位を退いた後に「上皇」となり、院庁と呼ばれる役所を通じて、現役の天皇に代わって実権を振るった。 |
|--|--|---|--|
- 問14 平安時代初期、最澄は唐に渡って仏教を学び、帰国後に比叡山に延暦寺を建立して新しい宗派を広めました。この宗派の名称として正しいものを、次のうちから選びなさい。 (2019年 三重県公立入試 類似)
- | | | | |
|--------|--------|--------|--------|
| 1. 臨済宗 | 2. 浄土宗 | 3. 天台宗 | 4. 真言宗 |
|--------|--------|--------|--------|

答え合わせ・解説

問1	答え 2 漢字を簡略化したり一部を抜き出したりした「かな文字」が普及し、心情や情景を日本語で自由に表現できるようになったため。	国風文化の進展とともに「かな文字」が普及したことで、漢字だけでは表現しきれなかった微妙な感情や情景の描写が容易になりました。特に宮廷に仕える女性たちの間でこの文字が積極的に使われたことが、世界的な文学作品が生まれる大きな要因となりました。なお、万葉仮名はかな文字が成立する以前の、漢字をそのまま使った表記法を指します。
問2	答え 3 平等院鳳凰堂	藤原頼通が宇治に建立した平等院鳳凰堂は、当時の貴族が憧れた極楽浄土を地上に再現しようとした建築の代表例です。室内には定朝が制作した阿弥陀如来像が安置されており、周囲の池や庭園と合わせて、死後の世界である浄土を視覚的に表現しています。
問3	答え 3 遣唐使の廃止にともない、日本の風土や生活に合わせた国風文化が発達し、かな文字による表現が広まった。	894年に菅原道真の建議によって遣唐使が廃止されると、中国の影響を消化しつつ日本の感性に合わせた「国風文化」が成立しました。それまで公的な文書は漢字（真名）で書かれていましたが、日常的な感情や細やかな情景を表現するのに適した「かな文字」が使われるようになり、紫式部らによる物語文学の開花につながりました。
問4	答え 4 天台宗	最澄は804年に遣唐使とともに唐へ渡り、帰国後、比叡山延暦寺を総本山として天台宗を開きました。この宗派は、後に鎌倉新仏教を創始する法然や親鸞、道元、日蓮らが修行した場所としても知られ、日本仏教の歴史において極めて重要な役割を果たしました。
問5	答え 2 枕草子	清少納言は一条天皇の中宮定子に仕えた女性で、自身の観察や感想をまとめた『枕草子』を著しました。これは日本文学における随筆の先駆けとされ、冒頭の「春はあけぼの」という一節が非常に有名です。同じ平安時代に活躍した紫式部が著した『源氏物語』は物語（小説）形式であり、文学のジャンルが異なります。
問6	答え 2 白河天皇	白河天皇は、幼い堀河天皇に位を譲った後も上皇として実権を握り、自らの直属の軍事力として「北面の武士」を置くなどして権力を強化しました。これが約100年続く院政の始まりとなりました。
問7	答え 4 奥州藤原氏 ― 平泉	平安時代末期、東北地方では前九年合戦や後三年合戦などの戦乱を経て、藤原清衡が支配を確立しました。清衡は北上川流域の平泉を拠点として、清衡、基衡、秀衡の3代（および泰衡）にわたって約100年間の繁栄を築きました。多賀城は現在の宮城県に位置する、古代の東北統治の拠点（国府）です。
問8	答え 3 国風文化	894年に遣唐使の派遣が停止されたことを一つのきっかけとして、それまで取り入れてきた大陸文化が日本の自然や生活様式に溶け込み、独自の発展を遂げました。この時期の貴族を中心とした優雅な文化を国風文化と呼びます。
問9	答え 1 最澄が開いた天台宗の拠点である比叡山は、後に鎌倉新仏教の開祖たちを多く輩出する修行の場となった。	最澄が比叡山に開いた延暦寺は、平安時代を通じて日本仏教の中心的な教育機関のような役割を果たしました。後に鎌倉時代に新しい仏教を創始した法然、親鸞、道元、日蓮などの僧侶たちは、いずれも若い頃に比叡山で修行を積んでおり、天台宗は「日本仏教の母」とも呼ばれるほど大きな影響力を持っていました。
問10	答え 1 坂上田村麻呂 ― 征夷大將軍	桓武天皇は東北地方への勢力拡大を重視し、軍事的な成功を収めるために有能な武官である坂上田村麻呂を「征夷大將軍」に任命しました。彼は東北地方へ進撃してアテルイなどの蝦夷の指導者を降伏させ、胆沢城を拠点として朝廷の支配地域を北へと大きく広げました。他の選挙肢にある足利尊氏は鎌倉幕府を滅ぼした後の人物であり、時代が異なります。
問11	答え 2 国司による重い税負担を回避し、土地の支配権を実質的に守ること	地方の開発領主たちは、国司からの重税や干渉を避けるため、権威のある貴族や寺社に土地を寄進しました。これにより、税を納めない権利（不輸の権）や役人の立ち入りを拒否する権利（不入の権）を認めさせ、自らの土地支配を安定させようとした背景があります。
問12	答え 3 浄土信仰	社会不安や戦乱への恐れから、南無阿弥陀仏と唱えることで救われるという考えが貴族から民衆へと広まりました。平等院鳳凰堂の内部には美しい阿弥陀如来像が安置され、壁画には極楽から迎えが来る様子が描かれるなど、この信仰が文化に大きな影響を与えたことがわかります。
問13	答え 2 自身の娘を天皇のきさきとして送り込み、その間に生まれた子を次の天皇に立てることで、天皇の親戚（外戚）として政治を補佐した。	藤原氏は、自分の娘を天皇の妃（きさき）にし、その間に生まれた皇子を次の天皇に即位させるという手法を取りました。これにより、天皇の母方の祖父（外戚）という立場を築き、天皇が幼いときには「摂政」、成人してからは「関白」という役職に就いて政治の実権を握りました。この仕組みを摂関政治と呼びます。
問14	答え 3 天台宗	平安時代初期、桓武天皇の支持を受けた最澄は、比叡山（滋賀県・京都府の境）に延暦寺を建て、天台宗を広めました。同時期に空海が伝えた真言宗とともに、当時の貴族の間に深く浸透しました。